

第4次越谷市総合振興計画後期基本計画

# 市民懇談会

テーマ「市民が主役のまちづくり」  
～自治のまちづくりについて考える～

平成26年7月  
越谷市 企画課

# 1 地方分権の展開

## ■ 地方分権の展開

- ・ 地方分権改革：日本国憲法の国民主権の理念の下に、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにするための改革。（内閣府ホームページより）

平成5年～	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国会で地方分権の推進に関する決議</li><li>・ 国と地方の関係を「上下・主従」から「対等・協力」へ</li><li>・ 機関委任事務の廃止など</li></ul>
平成18年～	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地方分権改革推進法の成立</li><li>・ 生活者の視点に立った「地方政府」の確立</li></ul>

- ・ 地方自治体の位置づけが「国の下請け機関」的なものから「対等」へと変化し、地方自治体の主体的なまちづくりが求められている。
- ・ 少子高齢・人口減少社会の到来、市民ニーズやライフスタイルの多様化など、社会環境も大きく変化している。

## ■ 「新しい公共空間」の考え方

- ・ 地方財政が悪化する一方で、少子高齢化の進展等に伴い、従来は家庭等において対応されてきた保育や介護などが公共サービスとして求められるなど、「公共」の守備範囲が拡大。
- ・ 地域コミュニティやNPO、その他の住民団体など公共サービスの提供主体となり得る多様な主体が、自ら、地域の課題を発見し解決することを通じて、「新しい公共」を担う仕組みが必要。

## ■ 大都市制度の改革

- ・ 地方分権のさらなる展開に向け、指定都市、中核市、特例市では、広域連携を進め、地域の個性を発揮し、経済をけん引する役割を力強く果たしていくことが求められ、更なる事務の移譲を進めることが求められている。
- ・ 越谷市では、保健や健康危機管理、環境保全などの充実を図るため中核市への移行を目指す。

## 2 越谷市自治基本条例の概要

### ■ 越谷市の取組み：参加と協働のまちづくり、自治基本条例の制定

- ・ 地方分権や社会環境の大きな変化を受け、越谷市では、これまでも推進してきた「参加と協働によるまちづくり」の考え方を整理し、地方分権の時代にふさわしい、これからの越谷市のまちづくりの基本となる「越谷市自治基本条例」を制定した。
- ・ 「越谷市自治基本条例」は市民の皆さんがこれからも楽しく、いきいきと暮らしていくためのまちづくりのルール。この条例が、市政における市民参加のあり方や協働のあり方など、今後のまちづくりの規範になる。

### ■ 自治の基本理念（第2章）

#### 市民主権

「市民」がまちづくりの主人公であるという考え方。「市民」「議会」「市長等」3者が、お互いに協力してまちづくりをすすめる。

#### 人間尊重

「市民」一人一人が人間として尊重され、「やさしさ」や「心の豊かさ」などの人間らしさに満たふれあい豊かなまちづくりを行うという考え方。

### ■ 自治の基本原則（第2章）

#### 参加・協働・情報共有

### ■ 参加と協働（第6章）

#### 参加

- ・ 市制への参加（第23条）
- ・ 審議会等への参加（第24条）
- ・ 意見公募手続（第26条）

#### 協働

- ・ 地域コミュニティ組織と市民活動団体の役割（第12条）
- ・ 地域コミュニティ組織・市民活動団体との協働と活動への支援（第25条）

#### 市民主権

「市民」がまちづくりの主人公であるという考え方です。「市民」、「議会」、「市長等」の3者が、お互いに協力してまちづくりをすすめていきます。

#### 人間尊重

「市民」一人一人が人間として尊重され、「やさしさ」や「心の豊かさ」などの人間らしさに満たふれあい豊かなまちづくりを行うという考え方です。

### 3 前期基本計画の概要

## 大綱1 市民とつくる住みよい自治のまちづくり

### 1-1 市民参加と協働による市政を進める

#### ■基本方針

- 市民参加と協働によるまちづくりを一層推進するため、幅広い市民参加を促進するとともに、市民が市政に参加する機会を拡充し、市民の創意と活力を活かしたまちづくりを進めます。
- また、地域の抱える課題に対して、市民自ら取り組み、解決できるよう市民と行政の役割分担を明確にするとともに、地域活動や市民活動を支援します。
- 参加や協働の前提となる市政情報については、市民にわかりやすく提供します。

#### ■施策の体系

111 市政への市民参加を進める

112 市民と協働のまちづくりを進める

113 情報を提供し、市民との共有を図る

#### ■主な施策の進捗状況

事業名（中項目番号）	指標名	H21年度 現況値	H25年度 現況値	H27年度 目標値	目標値に対するH25年の達成率
(111) 自治基本条例推進会議運営事業	公募委員のいる審議会等の数	21機関	27機関	26機関	100%
(111) 広聴活動事業	市政に対する意見・要望数	795件	928件	900件	100%
(112) 地区センター・公民館整備事業	大型地区センター・公民館数	7か所	8か所	10か所	33.3%
(113) 広報紙発行事業	広報紙の分かりやすさ	—	68.8%	80.0%	86.0%

### 3 前期基本計画の概要

## 大綱1 市民とつくる住みよい自治のまちづくり

### 1-2 互いに認め合い人権を尊重する社会づくりを進める

#### ■基本方針

- すべての市民がかけがえのない一人の人間として尊重され、平和で平等な生活を送ることができるよう、各種の啓発活動などを通して人権意識を高めるとともに、学校教育・社会教育を通して人権教育の充実に努めます。
- また、男女共同参画社会の実現のために、男女が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画する機会を確保するなど、男女共同参画の推進に関する施策を総合的に実施します。
- 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員としてともに暮らしていく多文化共生の地域づくりを推進するとともに、国際交流活動を通じて、国際社会における相互理解を深めます。
- 生命の尊さと一人ひとりの人間の尊厳を理解し、認識を深めるため、市民一人ひとりの平和意識の醸成に努めます。

#### ■施策の体系

121 相手を思いやる人権意識を高める 122 人権教育を進める 123 男女共同参画社会を進める

124 多文化共生社会の形成と国際交流を進める 125 平和への意識を高める

#### ■主な施策の進捗状況

事業名（中項目番号）	指標名	H21年度 現況値	H25年度 現況値	H27年度 目標値	目標値に対するH25年の達成率
(122) 人権教育推進事業	講座の参加者数	3273人	2753人	3300人	0%
(123) 男女共同参画支援センター管理運営事業	センター主催事業の参加人数	3616人	7063人	3977人	100%

### 3 前期基本計画の概要

## 大綱1 市民とつくる住みよい自治のまちづくり

### 1-3 健全で開かれた都市経営を進める

#### ■基本方針

- 社会経済情勢の変化等に的確に対応し、市民の視点に立った質の高い行政サービスを安定的に提供していくために、行政評価や行政改革に不断に取り組み、限られた経営資源を有効に活用しながら、効率的で効果的な行政運営を進めます。
- また、それらの取り組みを通じて、歳出の見直しと歳入の確保を一体的に推進し、持続可能な都市経営を支える財政基盤が健全で強固なものとなるよう努めます。
- きめ細かな行政サービスを提供するため、多くの権限を持つ中核市への移行を目指すとともに、他自治体との広域連携によるまちづくりを進めます。

#### ■施策の体系

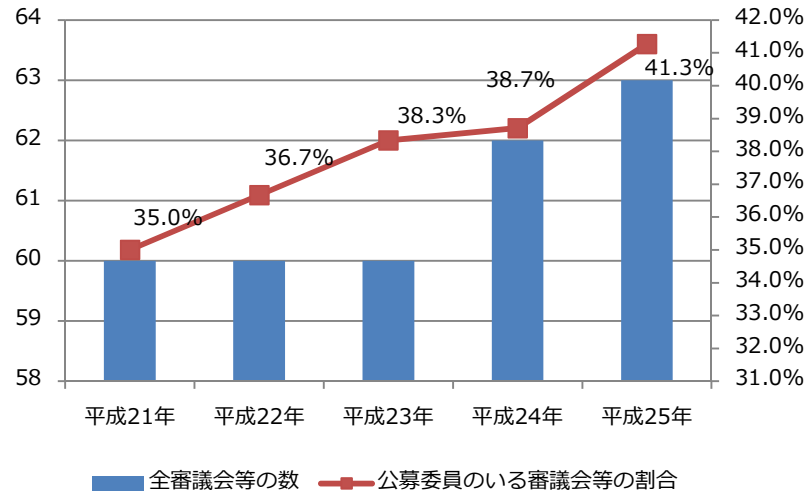
- 131 効率的かつ効果的な行政運営を進める
- 132 行財政運営の健全化を進める
- 133 都市間の連携強化を進める

#### ■主な施策の進捗状況

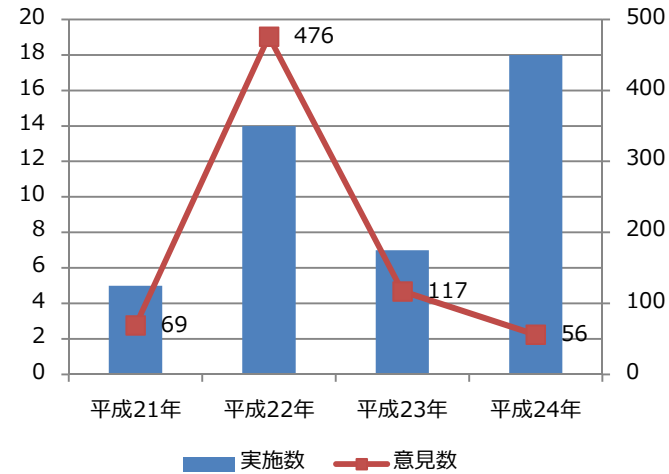
事業名（中項目番号）	指標名	H21年度 現況値	H25年度 現況値	H27年度 目標値	目標値に対するH25年の達成率
(131)行政改革の推進	行政改革の取組項目の実施率	—	84.6%	100%	86.0%
(131) 中核市移行事業	中核市移行に関する認知度	—	26.5%	70.0%	37.9%
(132) 市税徴収事務事業	市税収納率	94.9%	96.8%	95.5%	100%

# 4 関連データ

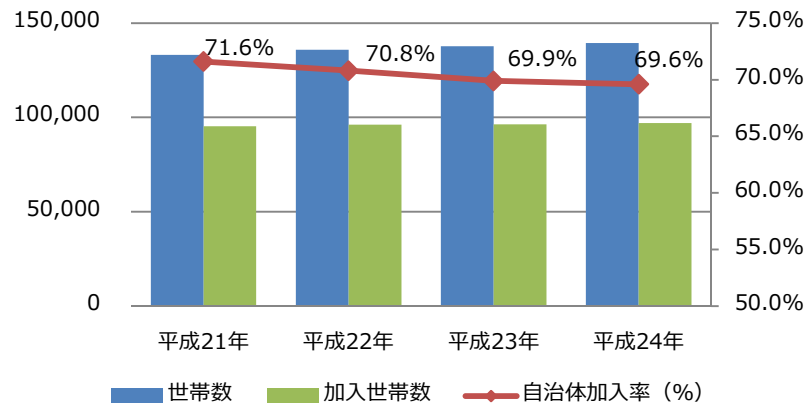
■ 公募委員のいる審議会等 (各年度4月1日 企画課)



■ 意見公募手続の実施実績 (各年度末 広報広聴課)



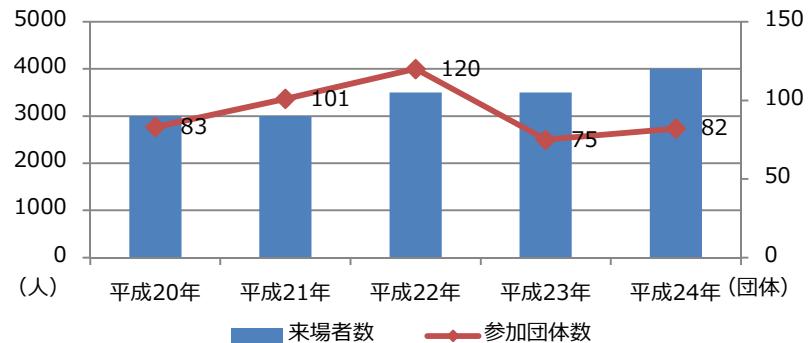
■ 自治会加入率の推移 (各年5月1日市民活動支援課)



■ 市内NPO法人の数 (平成26年4月末地域振興センター)

	越谷市	川口市	草加市	春日部市	吉川市	川越市
団体数	71	140	47	53	13	101

■ 協働フェスタ参加団体・来場者数 (各年市民活動支援課)



## 4 関連データ

### ■地区まちづくり

- ・越谷市では、第2次越谷市総合振興計画後期基本計画（平成3年度）において、急激な人口増加と都市化の進展による地域コミュニティの希薄化に適切に対応するため、コミュニティと市民主体のまちづくりを計画に位置付け、コミュニティ体制の一層の整備に努めることを基本方針に掲げた。この組織が地区コミュニティ推進協議会（地区コミ協）であり、現在の地区からのまちづくりのはじまり。
- ・地区コミ協は、地区におけるコミュニティ推進の中核組織。目的は、①地域における住民間、住民と行政との関わりを考える組織として、地区内の諸問題等を住民相互に話し合い解決を図ること、②地区固有の諸課題等に積極的に取り組むとともに、各種団体の連絡調整を図りながら活動を推進すること。
- ・越谷市総合振興計画「基本構想」に位置付けられている地区別将来像を実現するため、平成12年度から各地区コミ協が「地区まちづくり推進計画」を定めて、まちづくり活動を行っている。

### ■市からの情報提供

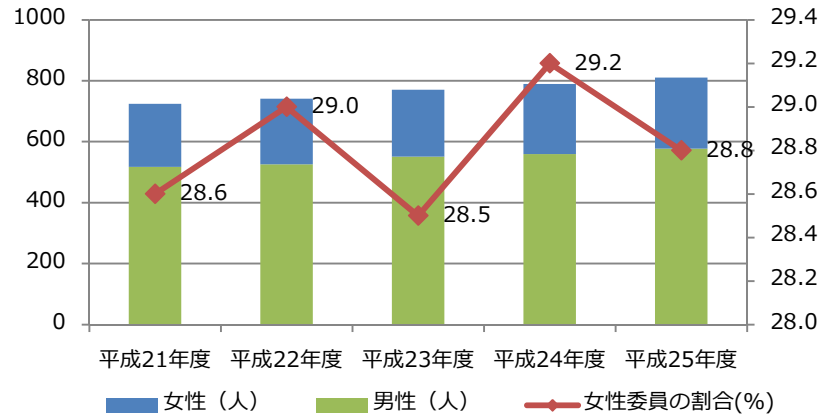
- ・広報紙「広報紙こしがや」
- ・テレビ広報番組「いきいき越谷」
- ・ホームページ、越谷Cityメール配信サービス、緊急速報メール
- ・公式ツイッター
- ・「越谷ナンバー」の普及啓発



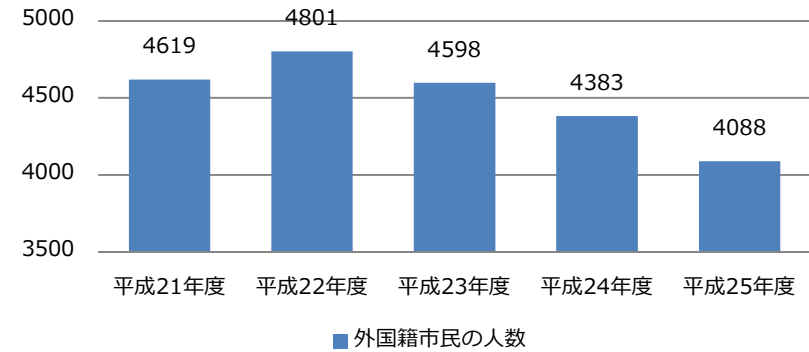


# 4 関連データ

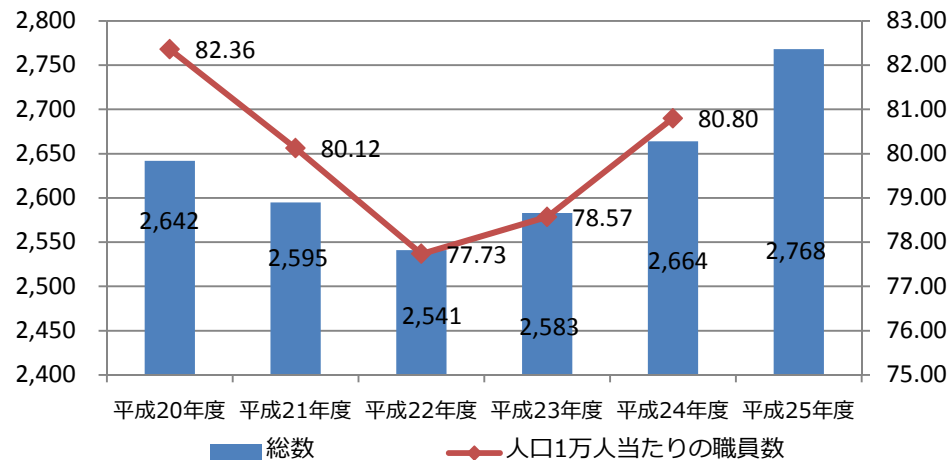
## ■ 審議会等の委員への女性の登用率



## ■ 外国籍市民の人数 (各年3月末 市民課、市民活動支援課)



## ■ 職員数の推移 (各年4月1日、人事課、(注) 他市からの派遣職員、東埼玉資源環境組合及び越谷・松伏水道企業団の職員を含む。)



## 5 テーマ「市民が主役のまちづくり」

～自治のまちづくりについて考える～

### 1. 関心のある話題を選ぶ（5分）

- ・ 関心のある話題3つを選んで、  
『話したい・聞きたいキーワード』を書きましょう。

### 2. 話題ごとにディスカッション（40分+40分）

- ・ 簡単に自己紹介
- 目指す未来
- 現状の良い点・課題点
- 市民ができること、行政ができること

### 3. 最も大切と思う、優先したい話題を選ぶ（5分）

## 第1回 市民懇談会の記録

### テーマ「市民が主役のまちづくり」

※各回、最後に参加者の皆さんが重要と考える項目をお聞きしました。特に関心の高かった項目に「★」をつけています。

#### 1. 市政への市民参加（111）

##### ■市政に対する市民の関心が低い、一面、問題が少ないということといえる

- ・東日本大震災があったときは防災に対する関心が高く多くの人に参加したが、今は災害に対する取り組みは関心が薄れ参加が少ない。
- ・市民の関心が少ないが、興味あることには参加する。問題があったら参加し、話をしに来る。越谷には当面大きな問題がないと市民は判断していると思う。
- ・市の制度や取り組みが整っていて、多くの市民は困りごとがないと思う。

##### ■参加のきっかけは、困った時や何か感じたときに相談できる窓口があること

- ・参加するきっかけは困りごとだろう。
- ・困りごとがあると関心が高まる。
- ・近くの公園のブランコの台が壊れていて、それでも子どもたちは遊ぶ。危ないと思ったとき、どこに話に行ったらよいかわからないことがあった。
- ・気楽に意見が言え、適切に話ができる総合相談窓口みたいなものがあるとよいとおもった。
- ・地域にも相談できる場があるとよい。
- ・これが参加のきっかけ作りだと思う。

##### ■若者の参加が少ないので、学校等へ出向く工夫が必要だ★

- ・越谷市の未来を考えるのに、その時の社会の支えとなる未成年者の意見が少ないが、工夫が必要だろう。
- ・未成年者の参加の場をどのように作っていくのか、待っていても参加は少ない。
- ・中学校や高校に出向いて、総合学習などの時間を使って意見を聞くことはできないか。

##### ■参加したくても参加が難しい人への参加の工夫が必要だ★

- ・市は多くの市民参加を行っているが参加が少ない。特に、20代～40代の参加が少ない。
- ・都心まで働きに出て平日は時間が取れない。また、休日は休日で用事などがたまっている。職場が近くにあれば、条件はだいぶ変わってくるだろう。

- ・若い世代は関心があり、参加したくても時間が取れないのが実態だろう。
- ・参加したくても時間が取れない人への参加の工夫（インターネットなどを利用）が必要だ。

### ■参加のハードルを下げる

- ・事前申し込みなどもハードルが高くなるのではないか。
- ・しかし、ある程度の参加人数の予想が立たないと準備も難しくなるので、それはわかるが、主催者としては痛しかゆしではないか。

### ■地域で公園の管理などまちづくりに誰でもが参加しやすい、活躍できる場をつくる

- ・ノウハウを持った元気な定年退職した市民の活動の場をどう作っていくかは課題だ。
- ・地域での参加に対して、ポイント制などを導入してみたらどうか。
- ・地域で公園の整備、樹木や花壇の緑、施設などの管理などをもっと進めたら、子どもからお母さん、お年寄りまで参加する人は増える。
- ・学校・一般の図書館の活用も可能と思う。

### ■参加には、市民と市・職員との対話があるとよい

- ・参加で市民は言いつばなしでなく、市民と市・職員との対話が必要だろう。
- ・行政だけが呼びかける参加だけでは不十分で、市民の側から対話などの場を持つことも必要になるだろう。
- ・市民と市・職員との相互の風通しを良くする。

### ■参加の内容に直接民主制や審議会等の市民参加の門戸を広げる

- ・市民が参加する直接民主制と代表民主制との関係を整理することが重要だろう。
- ・参加の場としての審議会などの委員代表や組織代表は同じ人がいろいろな会に選ばれている。市民の公募などを増やす。
- ・審議会だけの参加では不十分だと思う。

### ■市民が主役という意識を高めることが必要だ

- ・市民の自治力の向上が必要だ。
- ・自治基本条例の市民の認知の少なさを感じる。
- ・すべてを行政任せにするのではなく、地域を担うのは自分たちという意識を育てていくことが必要だろう。
- ・市民の郷土意識（愛市意識）をどのように高めるかが必要だろう。
- ・町内クリーン作戦などには多くの人に参加し、身近なところでは参加している。
- ・町内の祭りなどには参加が多い。

- ・自治会などへの参加が減っている。
- ・自治会はいいが、役員や役は担いたくないので、参加にしり込みする人は多いと思う。
- ・若い世代は、自治会に参加しなくても困らないと感じている人が多い。

### ■越谷市でいう市民とは？

- ・市民とは越谷市ではどのような人を指しているのか。(⇒市の回答：自治基本条例の定義では、住んでいる人、通勤・通学している人、活動している人の個人及び団体を指す)

## 2.協働のまちづくり (112)

---

### ■協働事業の提案窓口があるといい★

- ・NPOとしてプレイパーク運営の活動を行っているが、市との協働を提案する窓口や担当課が分からないし、分かった後も行政とのやりとりが難しい。協働事業化に至るまでの労力が非常に大きい。
- ・市民活動支援課に提案を持っていくが、各分野の施策を詳しくは知らないなので、スムーズに支援が受けられない。市民や団体からの提案に関連する各課が集まって打合せをする場を設けてほしい。
- ・各課に、協働の担当者や窓口が必要。
- ・一職員として提案を受けると、その職員によって対応が変わってしまう。組織として市民の提案を受ける仕組みがあるといい。
- ・協働の提案窓口や事業化に向けた支援の仕組みがあることによって、市民も行政のことを知るきっかけになる。

### ■行政側からも市民との協働を提案してほしい

- ・市民側からだけでなく、行政側からも各課の協働の施策や、今後市民と協働で行いたい事業を一覧で出してほしい。
- ・各課の施策のうち、どれを協働でできるのか、公開の仕組みがあるといい。

### ■市民の活動成果を報告する仕組みがあるといい

- ・市民の活動や協働事業の成果を報告する場がない。行政の施策に活用するためにも、活動成果を市と市民が共有する仕組みが必要だ。

### ■市民からの意見を共有したい

- ・市民として日々生活していて気付くことは多い。市民の意見を広く聞くことだけでなく、どのような意見があるのかを他の市民にも伝えることが重要。そのことで、地区に共通する新たな課題が見つかるのでは。

### ■NPOや企業との協働にも重点を置いてほしい

- ・現在の市の「協働」の捉え方は、地区まちづくりに偏っているのではないか。NPO や市民活動団体、さらに企業との協働にもっと力を入れてほしい。

■元気な高齢者をもっと活用するため分かりやすい仕組みを★

- ・元気な高齢者をもっと活用すべき。市民活動支援センターの活動がよく見えない。

■自治会・地区コミ協をより開かれたものにするには？★

- ・市外からの転入者と地元住民との交流の場がない。
- ・自治会活動や地区コミ協参加人員の高齢化。
- ・賃貸居住者が自治会に加入しない。広報も配れない。どうフォローするか。
- ・自治会の役員は「やらされている」と感じているのが実態では。コミ協も同様。若い世代がなかなか入ってくれない。
- ・30歳代だが、マンション自治会の役員をやった。2年ごと順番で回しており、自分の後に同世代から立候補が2名あった。自治会活動を活性化するには、自ら楽しむ姿を見せることで、後継者が続いてくれると分かった。
- ・若い世代には、自治会への加入の方法が分からないと言う人もいる。

■自治会同士の連携の仕組みが必要★

- ・自治会に求められる範囲、責任とは？
- ・災害時の要援護者支援、日常時の見守りが重点課題となっている。孤独死の例もある。自治会と民生委員の情報共有をもっと図るべき。
- ・自治会同士、同様の悩みや課題を持っている。また成功例もある。情報交換の場が必要だ。
- ・防災訓練を複数の自治会共同で行ってはどうか。予算も大きくなるし、若い世代の多い自治会が高齢化する自治会を助けることにもつながる。

■地区コミ協を活用して自治会とNPO 団体との協働を★

- ・自治会は総合的に地域に関わり、NPO はテーマに特化した専門性がある。うまく組み合わせるため、地区コミ協をもっと活用したい。

■向こう三軒両隣の関係づくりが大切

- ・孤独死や怪我など、周囲の人が「なにかおかしい」と気付くことが大切。自治会費をこまめに回収に回るなどの班ごとの取組み、関係づくりが重要だ。

### 3.情報の提供・共有（113）

---

■情報共有とプライバシー保護

- ・情報提供・共有とプライバシー・個人情報の保護をどう調和、両立させるか。

■インターネットを使わない人に向けた情報共有

- ・インターネットを使わない人は情報不足に陥りがち。より効果的な伝達方法が必要。

#### 4.人権意識・人権教育（121、122）

---

#### 5.男女共同参画社会（123）

---

#### 6.多文化共生社会・国際交流（124）

---

#### 7.平和意識（125）

---

#### 8.行政運営（131）

---

##### ■行政がやるべきことと地域に任せることを整理する★

- ・まだまだ、福祉やまちづくりなどで行政サービスが必要とされるが、行政に頼ってはいは財政が膨らむばかりである。
- ・地域でもできることをわざわざ行政が行っているように感じる。
- ・すべて行政がやる姿勢ではなく、行政がやるべき必要なことと市民が地域で取り組んだほうがよいものなどを、これから市民と行政で整理することが必要だ。
- ・市が大枠を決めて、地域のコミュニティ協議会や市民団体・自治会と話し合うことが必要だ。
- ・市民が力を合わせて、ささやかなことでも自分たちで行い、行政・公を支えていく市を創る。

##### ■市民の声が市政に届き、改善されるアクションのルールを作る

- ・身近で感じることの声が市政に届き改善される、そのアクションのルールを持つことが市政として重要だろう。
- ・市民の要望がその後どのようになったのかの回答も必要だろう。

##### ■市民のノウハウや資源を市政運営に活用する

- ・ボランティアで清掃活動などを行っているが、少しではあるが財政に貢献できたと思っている。

- ・自分の能力を何かに役立てたいと思っている人は多い。

#### ■高齢者の能力を公共サービスの仕組みに活かす★

- ・リタイアした人で地域の見守り隊などを行っている。
- ・ノウハウを持った定年退職者など高齢者の持つスキルは貴重で、この資源を市政運営に活用する。
- ・シルバー人材センターなどがその趣旨で運営されていることになっているが、草取りなどが多く、高齢者が本当に持っているスキルが生かされていない。

#### ■中核市の移行で市へのメリットは何があるのか

- ・越谷市は中核市へ移行するがよいことがあるのかわからない。
- ・中核市となって行財政はどのように変わるのかわからない。

#### ■中核市の事務事業移管の中で市民ができることは市民で行う

- ・中核市で事務事業の移管などが多くあり、それに対応するため人件費負担が多くなっては意味がない。
- ・市民参加で分担していくことが必要だ。

## 9.財政運営の健全化（132）

---

#### ■社会資本の老朽化に対応した財政運営の方法を考える

- ・橋・道路・上下水道等は老朽化し、今後補修や改築の負担が大きくなる。その対策を十分考えておくことが重要だ。
- ・単純な長寿命化の視点だけではだめだ。
- ・すべてを同じ様に造り替え維持していくのかも含めて考える。

#### ■福祉と負担について、市民の側から考えを整理することが必要だ★

- ・高齢社会を迎え、福祉サービスの需要は高まる。その時どこまで負担してサービスを実施するのか、市民が議論していくことが必要と思う。
- ・生活保護は増え、必要などころにお金が出るようにしてほしい。

#### ■人件費のチェックは出来ているのか

- ・議会や職員の給与などの人件費はどのようにチェックされているのかわからない。

## 10.都市間の連携（133）

---